

令和3年度 教育委員会事務局長「政策宣言」中間報告

教育委員会事務局長 原 宗之

○ 令和3年度重要事業

事業名	ICT教育の充実
目標	新型コロナウイルス感染症等による学校の臨時休業時においても、子どもたちの学びを保障できる環境の確保を引き続き図るとともに、児童生徒の発達段階に応じたプログラミング教育や学習目標をもとに、児童生徒の論理的に考える力の育成や教員のICT教育の指導力向上に努めます。
進捗状況	学校では、発達段階に応じて授業等でタブレットパソコンを活用しており、今夏季休業期間中は、全ての公立小中学校の児童生徒がタブレットパソコンを持ちかえり、家庭学習に取り組みました。また、Wi-Fi環境のない家庭に対して、モバイルルーターの貸し出しを行いました。 教員に対しては、プログラミング教育等の研修や公開授業等を通じて技能・指導力の向上を図りました。
今後の対応	タブレットパソコンの効果的な活用を図り、児童生徒の情報活用能力、論理的思考力の育成に努めます。 また、教員のICT指導力の向上に引き続き努めます。

事業名	心身ともに健やかな子どもの育成
目標	本市では、家族とのふれあいや団らんが子どもの健全な成長に繋がるものとして毎月25日を家族との時間を大切にする「あったか家族の日」としてしています。市内企業や各種団体と連携し「あったか家族」の普及啓発に努めます。 また、不安を抱えている児童生徒や家庭への支援を推進するため、家庭教育専門支援員を新たに配置し、教育相談体制の充実に努めます。
進捗状況	「あったか家族」応援プロジェクトについては、市内企業や団体等と連携協力し、様々な取組を実施しながら普及啓発活動を展開しており、協力企業も増加しました。 また、新たに家庭教育専門支援員を2名配置し、学校やスクールソーシャルワーカー、関係機関等と連携しながら、不安を抱えている児童生徒の支援を行いました。
今後の対応	「あったか家族」応援プロジェクトは、引き続き市内企業や団体と連携協力しながら家族との団らんを促進する企画を実施することで、協力企業等の拡大につなげます。 また、家庭教育専門支援員を配置し、不安を抱えている児童生徒の家庭支援の充実に努めます。

事業名	文化財の活用とフットボールセンターの整備
目標	<p>放生津八幡宮祭曳山・築山行事が国重要無形民俗文化財に指定されたことから、保存会が行う記念行事への支援を行います。</p> <p>県西部唯一の人工芝グラウンド2面を有するフットボールセンター整備に着手します。併せてA Iカメラの整備等の特色を生かした利用促進についても検討を進めます。</p>
進捗状況	<p>放生津八幡宮祭の曳山・築山行事国指定記念事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3・4年度の2か年計画へ変更となり、今年度は国指定記念碑設置に対し、補助金を交付しました。</p> <p>フットボールセンター整備工事については、令和4年3月の完成に向け、順調に進んでいます。また、A Iカメラやローカル5Gなど、施設の特色をPRする動画を作成し、発信しました。</p>
今後の対応	<p>令和4年度には、国指定記念事業として記念講演会等が計画されていることから、引き続き保存会への支援を行います。</p> <p>フットボールセンターについては、12月市議会定例会に射水市フットボールセンター条例案を提出します。また、施設の運営にあたる事業者やネーミングライツの募集を行うなど、令和4年5月の開業に向けて着実に準備を進めます。</p>